

ClassPad.net



# 2024年度 実施効果報告レポート



【事業者名】

カシオ計算機株式会社

株式会社プロンテスト

【サービス名】

① ClassPad.net

② プロンテストシリーズ

- ・プロンテストコール(高等学校対象)
- ・プロンテストコール・ジュニア(中学校対象)
- ・英語教科書準拠アプリ(小・中学校対象)

【支援項目】

① 授業/授業準備/生徒指導(個別)

② 授業/成績処理/研修等



2025年1月



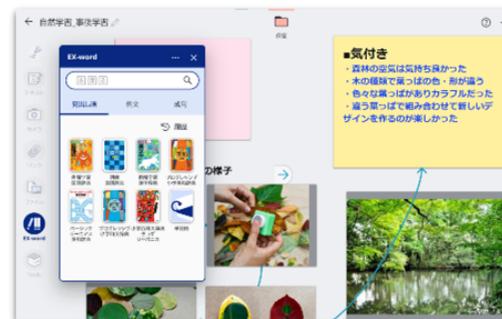
ClassPad.netは、「生徒の机上のデジタル化」がコンセプト。  
学習に必要なツールやコンテンツがオールインワンとなったアプリです。

### 「オンライン辞書機能」を使って、 授業や宿題に辞書・百科事典を活用！



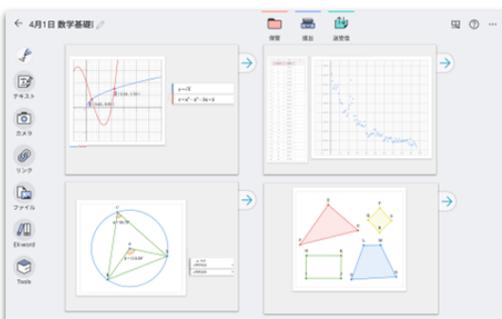
お使いの端末(PC/タブレット/スマートフォン)からオンライン辞書を利用できるため、授業中でも手軽にオンライン辞書を使って用語の確認や知識を深めることができます。

### 「デジタルノート機能」を使って、 授業や調べもののまとめも楽々！



画像やPDFファイル、辞書の検索結果などを駆使して、自分で考えながらノートにまとめることで効率的に思考力を身につけることができます。

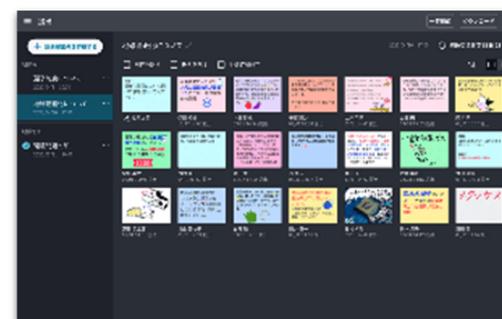
### 「ツール機能」を使って、 算数・数学や英語の学習でICTを活用！



簡単な操作でグラフや図形を作成したり、動的に変化させたりすることで、算数・数学的な体験をしながら学習を深めることができます。

算数・数学ツール「ClassPad Math」

### 「授業支援機能」を使って、 宿題の配布～返却までオンラインで完結！



デジタルノートで作成したふせんは先生・生徒間で送信受信できますので紙のプリントを配布、回収する手間を省き授業を効率化できます。



ClassPad.netは、授業でも自学自習でも活用可能。  
先生方の働き方改革をご支援します。

### 協働・探究学習

1つのノートを複数人で  
同時に編集

⇒ 調べ学習やアイデア出しなど  
グループワークに最適です

生徒間でふせんを送受信

⇒ 生徒同士の教え合い・学び合いを  
促進します



※先生が設定で許可した場合のみ、生徒同士のやり取りが可能  
※先生だけではなく生徒の画面から他のグループの編集画面を閲覧可能

### 個別学習

課題の配布・回収・管理・  
添削・返却

⇒ 一連の流れがスムーズになり  
個別学習の時間を増やせます

⇒ 個別のフィードバックで  
生徒の理解度や学習意欲が  
向上します



### 一斉学習

提出された生徒の解答を  
スクリーンや電子黒板に  
投影して共有

⇒ 他の生徒の考えを知り  
自分の考えを深められます

提出物の一覧表示により  
生徒の意見を一目で確認

⇒ 発言の少ない生徒の意見も  
把握することができます





プロンテストシリーズは、英語の授業で発音指導まで手が回らない先生方に代わって、教室や自宅学習でのスピーキング指導をサポートします！



小・中学生向け

主要な英語教科書に  
準拠したスピーキング  
練習アプリ！

英語教科書準拠アプリ



中学生向け

発音の違いから  
会話表現まで  
実践英語を練習！

プロンテストコール・ジュニア



高校生向け

発音の違いから  
会話表現まで  
実践英語を練習！

プロンテストコール



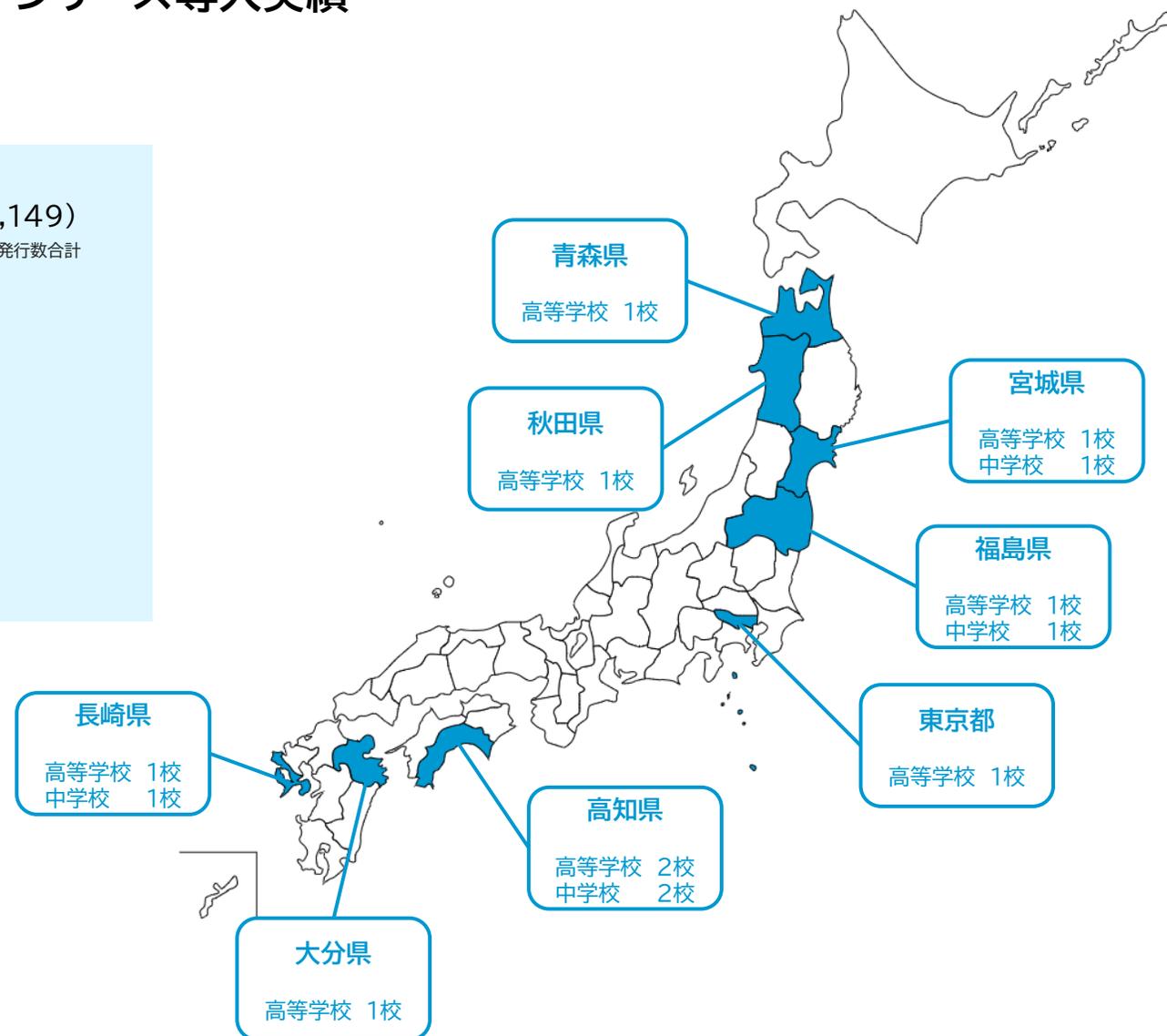
## 本事業におけるClassPad.netおよびプロンテストシリーズ導入実績

利用総数… **11,335** アカウント※(生徒 10,186、教員 1,149)  
※両サービスのアカウント発行数合計

自治体数… **8** 自治体

学校数… **14** 校

内訳: 高等学校(私立)	4校
(国公立)	5校
中学校 (私立)	3校
(公立)	2校



ClassPad.net



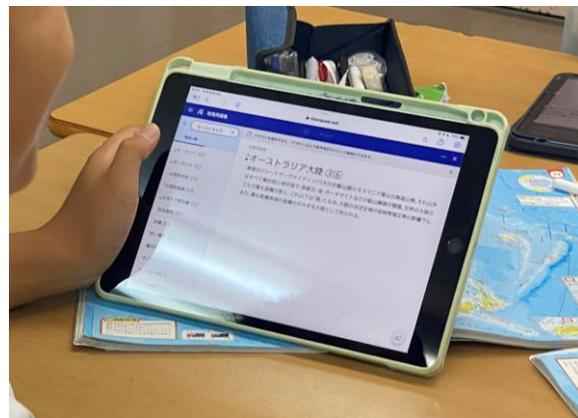
## 中学校/社会(地理分野)の授業での活用例

### 活用した場面

- オセアニア州の地域区分や文化などを学ぶにあたっての導入場面で、ClassPad.netの辞書コンテンツ(山川出版社地理用語集)を活用。
- 自分で調べることを通して用語を印象づけることや、班活動により学習をサポートし合うことを目的として、クイズ形式のワークシートを用意し、出題された内容について調べ学習を通して答えを導き出した。

### 活用のポイントや効果

- 自分で調べる活動を通して、話を聞くだけよりも**学んだことへの印象が強く残った**と感じた。また、自分たちのペースで主体的に学ぶことを楽しいと感じる生徒が多いため、効果的であったと考えられる。
- クイズ形式かつ調べ学習という組み合わせで授業を進めることで、ゲーム感覚で取り組むことができたのも良かった。



ClassPad.net



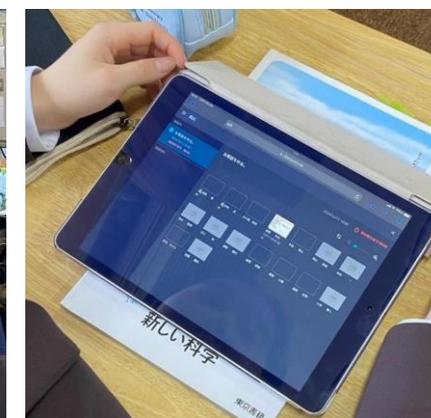
## 中学校/理科の授業での活用例

### 活用した場面

- 「音の伝わり方」の単元の冒頭・導入時に使用。生徒の予想や推測を教員にも、また、クラス全体にも共有をして、実験前の全体の共通理解・予測を図った。
- 共通の予測や理解があることで、実験結果との比較のしやすさを狙った。

### 活用のポイントや効果

- 生徒が**他の意見(予想・推測)を見ることで、自分の考えを再検討できるような環境作り**ができた。



# 導入実績および事例の紹介（高校でのClassPad.net活用①）



## 高校/英語(英語コミュニケーション I)の授業での活用例

### 活用した場面

- 主に辞書機能(ジーニアス英和/和英辞典)を活用。分からない単語や表現等があればいつでも調べて良いこととした。
- 教科書以外の教材として、あえて難しい単語等を含めたプリントを作ることがあるが、最初は辞書に頼らず読ませるものの、何となく読んだだけで終わらず、気になった単語をしっかり辞書で調べて、明らかにするよう指導した。

### 活用のポイントや効果

#### 【先生の授業準備等が効率化された】

今までは、教科書などでの既習事項、既習範囲を考慮しながら教材づくりをしていたが、ClassPad.netがあると、生徒全員が辞書を持っていることになるため、難易度が高い単語を含む問題や長文等、わからない単語や表現等は生徒が辞書で調べることが前提に、気にせず教材づくりをすることができた。結果として**教材づくりにおける教員の手間が軽減された。**

#### 【生徒が学習に主体的に取り組みやすくなった】

パソコンやスマホなど、**デバイス問わず、いつでも信頼ある辞書コンテンツにアクセスできる**ため、特に**リーディングとライティングの学習においては、生徒が主体的に取り組みやすくなる効果があった**と思われる。



## 高校/英語(グローバルイングリッシュ)の授業での活用例

### 活用した場面

- 「本時のまとめ・感想」や「この単元で新しく学んだこと」などをふせんにまとめて提出するよう指導した。
- 教科書を音読する課題を出す際、教科書本文の一部をテキストをふせんとして生徒に配布。配布したふせんに音声を吹き込み提出するよう指導し、提出された音声をチェックした。
- スピーチの試験を、上記と同様に録音したふせんの提出で実施した。

### 活用のポイントや効果

- **プリントを作り、配布し、回収する手間が軽減された。**また、以前は感想を「集めて終わり」になったり、「前回の授業で皆から出てきた感想のまとめ」をするために資料を作る必要があったが、提出された課題を提出機能で生徒が相互参照できるため、**クラスの感想のまとめと共有を即時に行うことができ、効果的**だった。
- 音声が生徒の名簿順に一覧で記録されているので、提出状況や、**生徒個々の音読への取り組みを確認しやすい。**
- 従来はスピーチの試験を教師と生徒1対1で実施していたため、その時間、他の生徒は自習にしていた。**スピーチの試験を音声ふせんの提出に置き換えることで自習にする必要がなくなる**ほか、生徒も提出前に録り直しができるので、**生徒本人が納得したスピーチを提出することができた。**



# 導入実績および事例の紹介（高校でのClassPad.net活用②）



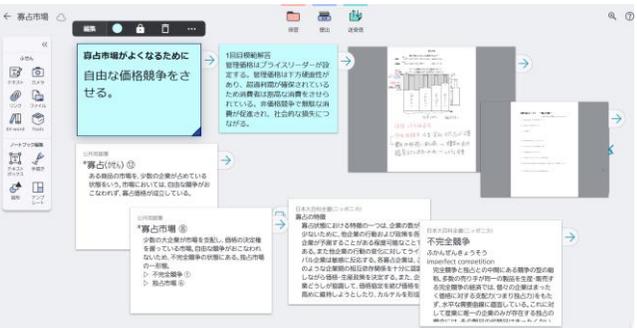
## 高校/公共の授業での活用例

### 活用した場面

- 寡占市場に関する単元で利用。寡占とはどのような状態かを教師が解説した後、寡占市場となっている業界の具体例を複数取り上げ、まずは紙のワークシートに具体的な企業名を記入していった。
- その後、ビール業界を例にとって寡占市場の理解を深めた後、まとめの場面でClassPad.netを活用。寡占市場の懸念点を生徒それぞれがふせんでまとめて、提出機能により提出した。

### 活用のポイントや効果

- 提出機能を使うことで**生徒の意見や考えを瞬時に集約し、提出状況を把握できる点が効果的**だった。
- 提出に至っていない生徒の数が**視覚的に確認できるので、その場で提出期限を柔軟に判断・調整**することができた。



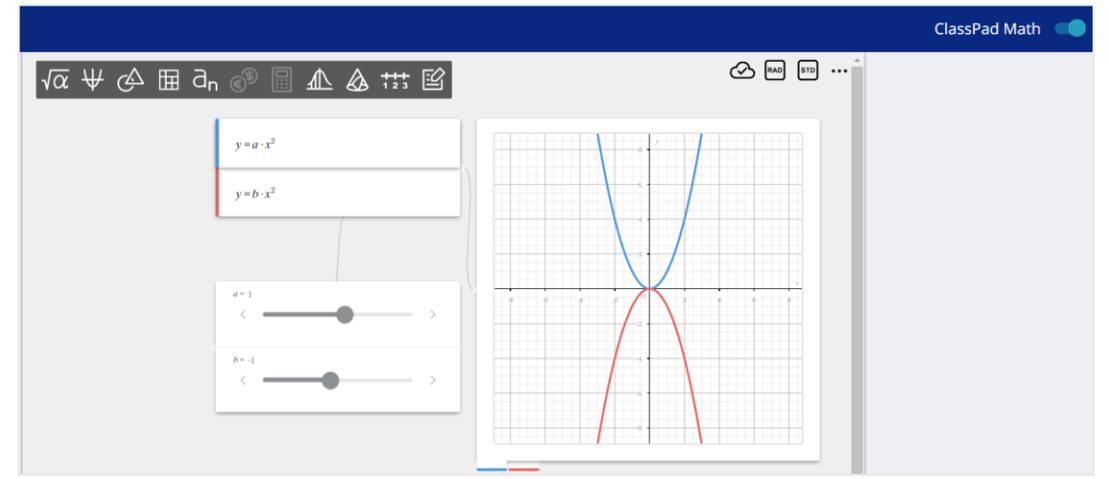
## 高校/数学 I の授業での活用例

### 活用した場面

- 二次関数の導入時に、実物の関数電卓を生徒に見せ、同様の機能が入っていることを説明したうえで数学ツールを利用した。
- まず教師が数学ツールで描画したグラフを大型モニターに投影。放物線の平行移動について視覚的に確認したり、数式の係数の値を変えることで放物線の向きが変わる様子などを演示した。
- 生徒にも各自の端末上で実際にグラフを操作させ、視覚的に理解できるように活用した。

### 活用のポイントや効果

- 生徒が係数を自分で操作したりする中で、**グラフが自分が思ったような形になるか考えるきっかけ**になった。
- **数学に対する意欲が上がった**ような生徒も見られた。



# 導入実績および事例の紹介（高校でのClassPad.net活用③）



## 高校/物理の授業での活用例

### 活用した場面

全単元のまとめとして、物理現象の質問をし、以下のような言葉の意味を再確認するために辞書(物理事典)を活用した。

- 例:
- 「温度」と「熱量」の違いは？
  - 「電位」、「電場」、「電位差」、「電圧」の違いは？
  - 「作用反作用の関係」と「つりあいの関係」の違いは？

### 活用のポイントや効果

ClassPad.netのオンライン辞書コンテンツから物理事典を活用。教科書に書かれている言葉とは異なる説明が載っているため、**一つの語句に対して様々な表現があると確認できたことに加え、生徒の理解の幅が広がった。**



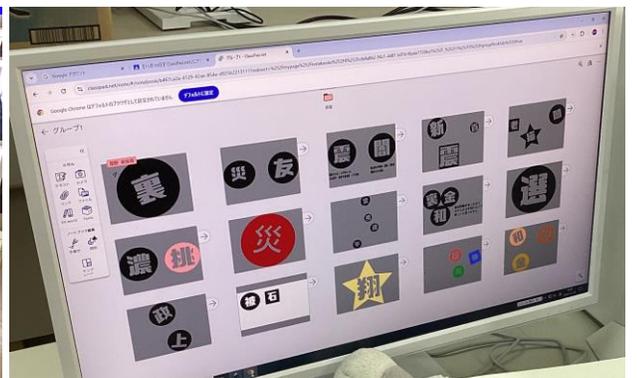
## 高校/学校設定科目(情報実践)の授業での活用例

### 活用した場面

ロゴデザイン(画像編集)の授業で活用。情報共有を効果的に行うことで、グループ全員が同じ目標や状況を理解し、意思決定や問題解決を迅速かつ正確に行える。**特に、視覚的な要素を活用したデザインでは、ClassPad.netのグループワーク機能の活用が、複雑な情報を簡潔に伝える手段として有効。**1グループ20名×2グループを作成し、生徒が各グループ内で、他の生徒が作ったデザインを参考にして自分のデザインをブラッシュアップするとともに、互いにフィードバックしやすくなった。

### 活用のポイントや効果

**「グループワーク機能」の活用により、各生徒のデザインの共有が容易になった。**デザインを共有したことで、それぞれのデザインについてフィードバックしやすい環境が生まれ、**効果的・効率的にブラッシュアップした情報デザインが可能になった。**



# 導入実績および事例の紹介（中・高でのプロンテストシリーズ活用）



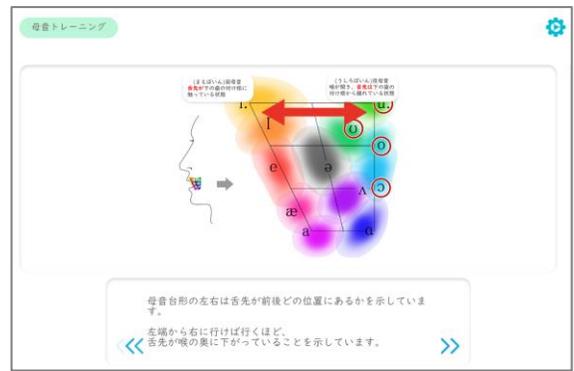
## 中学/英語の授業での活用例

### 活用した場面

- 授業中、自主学習の場面で利用。
- これまで生徒自身で発音を確認する機会があまりなかったため、今回プロンテストコール・ジュニアを利用して確認することを狙って使用した。

### 活用のポイントや効果

- 全員の発音を教員一人が個々で確認することはなかなかできないので、**発音を確認する良い機会となった。生徒たちも楽しんでいた様子。**



## 高校/英語の授業での活用例

### 活用した場面

- 英語(論理表現)の授業のウォーミングアップの場面でプロンテストコールのLesson2を利用。
- ターゲットとする単語について、生徒15人中8人が80点を越えたらクリアとし、次の発音判定に行く、というゲーム要素を盛り込んだ。



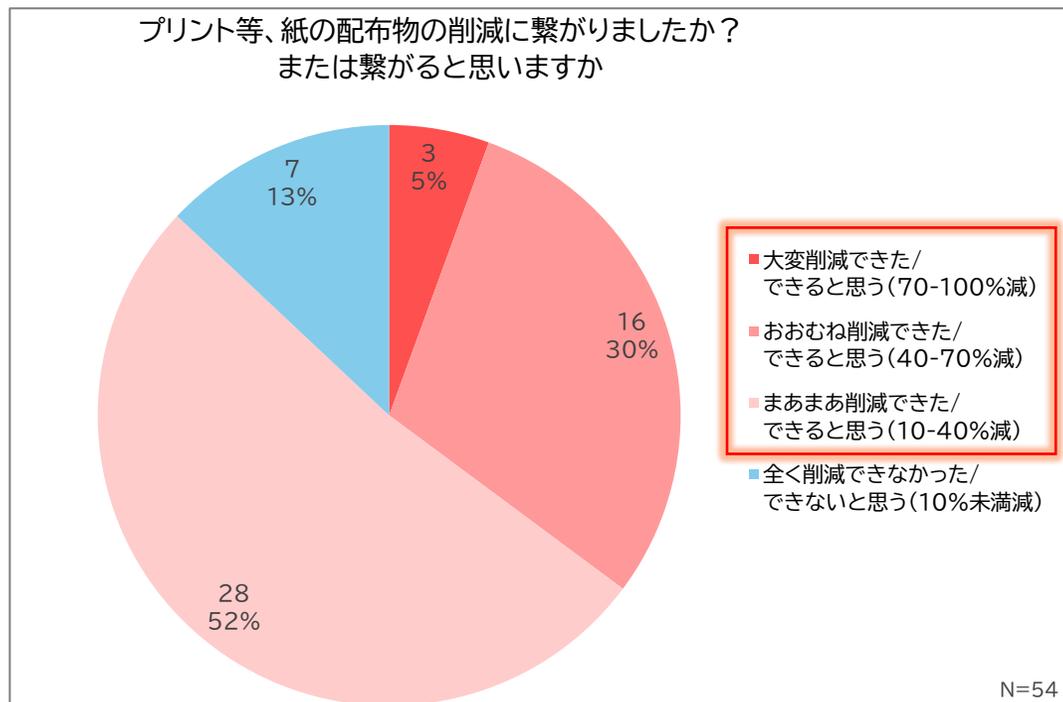
### 活用のポイントや効果

- 発音の指導は、教師1人だとクラス全員に対応するのが現実的ではない。**プロンテストコールを利用すると、1対多で発音指導ができるようになる**ことがメリット。生徒も、点数が出ることに喜んでいた。



1 紙の配布物削減効果が認められた(働き方改革への効果)

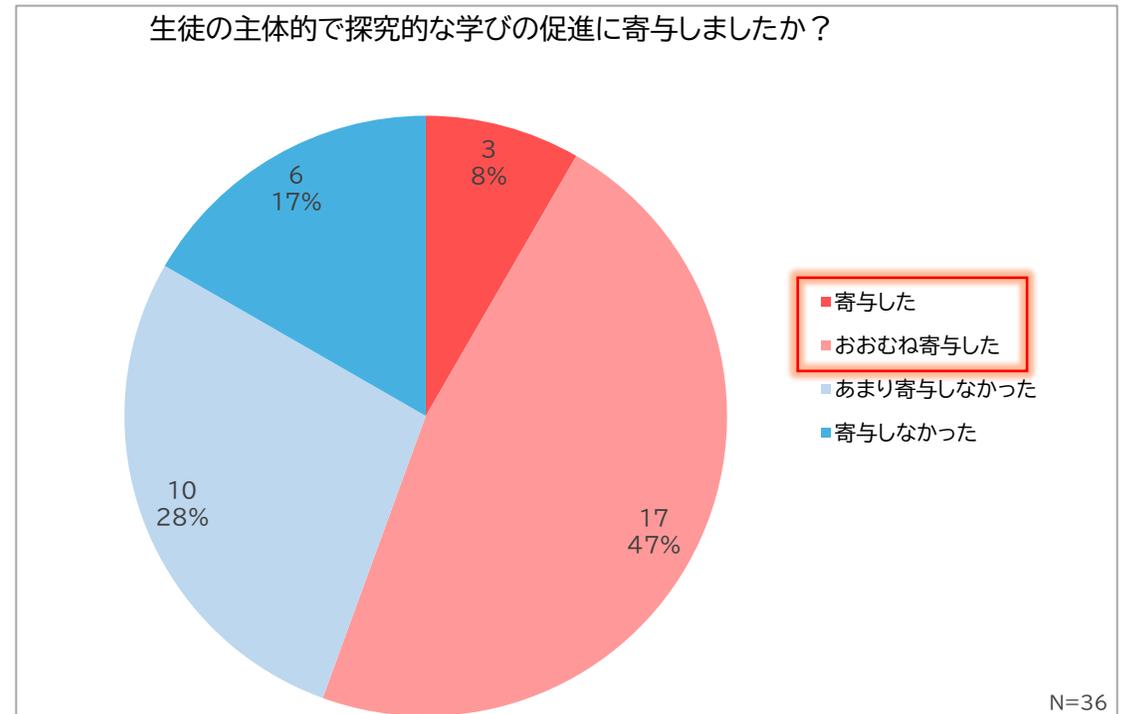
- **87%**の教員が、サービス導入によりプリント等、「紙の配布物の削減に繋がった/繋がると思う」と回答



ふせんの送受信や提出機能など、授業支援ツールとしてペーパーレスに寄与したと考えられる。また、紙を配布するという行為の減少も伴うため、働き方改革にも効果が波及していると考えられる。

2 主体的で探究的な学びの促進に寄与した(探究的な学びへの効果)

- **56%**の教員が、サービス導入により「生徒の主体的で探究的な学びの促進に寄与した」と回答



グループワーク機能や豊富な辞書コンテンツなどが、主体的で探究的な学びを促進することに、一定の有用性を発揮したと考えられる。  
 ※導入先の先生ごとに活用の目的や意図は様々であり、寄与しなかったという回答が一定数あったと想定。



## 課題

### セキュリティ設定によるアクセスブロックの発生

学校設置者のセキュリティ設定により、サービスへのアクセスが制限されてしまうケースがあった。

### サービス導入後の利活用の停滞

事業者側でもアクセスログ等により利活用状況を概観していたものの、導入直後は研修や試行錯誤によるアクセスも多く、実際に授業等でどのように活用されているか、詳細な確認が難しく、利活用が停滞した場面があった。



## 改善策

### 原因の切り分けと対応を実施

設置者側担当者やICT支援員と連携して原因の切り分けと対応を実施した。(例:ホワイトリストへのドメイン追加、ログイン方法の変更等)  
今後は、サービス導入時にあらかじめセキュリティ設定における留意点を顧客に伝える等の工夫を行う。

### コンタクト増および既存ユーザーによる活用事例の案内を実施

積極的に学校や設置者にコンタクトを取るとともに、サービスの既存ユーザーによる活用事例や、活用のポイントのアナウンス、および事例共有会(オンラインミーティング)の案内等を実施し、利活用の促進に努めた。

# サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント



## 教員からの声

### 授業の効率化ができることへの評価

- 生徒と課題のやり取りができるのは時間短縮や紙の使用の減少に役立つと思う
- 生徒の答案や課題の提出状況がリアルタイムで分かり返却も楽
- データファイルを一括で回収できる
- 宿題のチェックと音声ファイルのやり取りができる
- 生徒の回答を一括して見れる。また、生徒同士が資料や解答をシェアできる

### 生徒の思考が可視化できることへの評価

- 発言が苦手な生徒の思考過程を把握するのに役立った
- 生徒の思考の状況を把握でき、つまづいている生徒をいち早くフォローできる
- 提出状況をリアルタイムに確認できるので、生徒理解の進度に応じて解説内容を変える対応ができた。また、生徒の解答を表示し、それを元に間違いやすい点を解説することで、間違いを減らすことができた。

### 数学ツールへの評価

- グラフなどが書きやすい/関数グラフを使うことができる点が便利

### 協働学習に活用できることへの評価

- グループワーク機能を活用した協働的な学びが行いやすい
- Jamboardの代わりとして、ブレインストーミングや調べ学習に便利

### 豊富な辞書(EX-word)コンテンツへの評価

- 信頼できる辞書がたくさん入っている。紙の辞書を何冊も持つよりもいい
- 複数の辞書で一括で検索できる/調べたい語句をピンポイントで見つけられる
- 生徒全員が共通の辞書を使用できるので、英単語の意味の確認がしやすい
- 教科書の言葉だけではなく多面的に用語の定義や意味を押さえることができる
- デジタルノート上に辞書で調べた内容を残せるのが良い
- 英検2級の対策として活用できた



## 生徒からの声

### デジタルノート/授業支援機能への評価

- 写真を見ながら実験を行うことで手順がわかりやすい
- 宿題のやり取りがしやすい
- 情報共有が簡単にでき、他の人の考えや意見等が参照しやすかった
- ふせんに録音ができるので英検の面接練習に役立った

### 豊富な辞書(EX-word)コンテンツへの評価

- オンライン辞書での調べ学習が手軽で扱いやすかった
- 辞書で調べられて便利だった



## 教員からの声

### 授業中の待ち時間に活用できる

- 英語の授業中、スピーキングテストの順番待ちの間や終了後に取り組めた
- 生徒が個別に練習できる点が良い
- 生徒はゲーム感覚で、友達同士競争しながら楽しんで使うことができた
- 何度も繰り返し利用する事で、効果が上がるのを実感できていた様だった



## 生徒からの声

### スピーキング力向上効果への期待

- 継続的に練習する事ができれば、絶対効果は上がると思う
- 口内の調音位置の説明もわかりやすかった
- もっと色々な文等を練習してみたかった



	カシオ計算機株式会社(幹事社)	株式会社プロンテスト(構成員)
所在地	〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目6-2	〒305-0045 茨城県つくば市梅園2丁目25番地18
資本金	485億9,200万円	9,550万円
代表者	代表取締役 社長 CEO 増田裕一	代表取締役社長 奥村真知
事業内容	時計、電子辞書、電卓、電子文具、電子楽器、ハンディターミナル、電子レジスター、経営支援システム、データプロジェクター、成形部品、金型などの製造・販売。	産業技術総合研究所との音声関連ソフトウェア共同研究開発 上記成果技術を用いた教育ソリューション提供
従業員数	<連結> 9,594名(2024年3月31日現在) <単体> 2,480名(2024年3月31日現在)	5名
ホームページ	<a href="https://www.casio.com/jp/">https://www.casio.com/jp/</a> (コーポレートサイト) <a href="https://classpad.net/jp/">https://classpad.net/jp/</a> (ClassPad.net製品サイト)	<a href="https://prontest.co.jp/">https://prontest.co.jp/</a>
お問い合わせ (幹事社宛)	フォーム: <a href="https://classpad.net/jp/form/all/inquiry-form-master/">https://classpad.net/jp/form/all/inquiry-form-master/</a> ※お問い合わせ内容詳細に、「働き方改革支援補助金2024の効果報告レポートに関する問合せ」である旨を明記ください。 メール: <a href="mailto:info_classpad@casio.co.jp">info_classpad@casio.co.jp</a> 担当: カシオ計算機(株) EdTech事業部 山田	